健康づくりは幸せづくり

Making Health
is Making Happiness

証券コード●4559

第71期

株 主 通 信

2024年4月1日～2025年3月31日

Contents

株主の皆様へ…… P.1
営業の概況（連結）…… P.3
研究開発の状況…… P.5
研究開発パイプライン…… P.6
生産物流の状況／次期の見通し…… P.7
株主様ご優待のお知らせ…… P.8
トピックス…… P.9
財務諸表（連結）…… P.11
会社情報…… P.13
株式情報…… P.14
株主メモ

ゼリア新薬
ZERIA

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第71期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

代表取締役会長兼CEO
伊部幸顕

代表取締役社長兼COO
伊部 亮弘

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に、緩やかな回復基調となりました。一方、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇、為替変動や欧米の金利動向、依然として緊張の続く国際情勢などにより、先行き不透明な状況が続いております。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、薬価の毎年改定などの医療費抑制策が推進されている中、2024年10月に長期収載品の選定療養制度が開始されるなど、事業環境は一層厳しくなっております。また、OTC医薬品も、市場競争の激化などにより、厳しい環境下で推移いたしました。

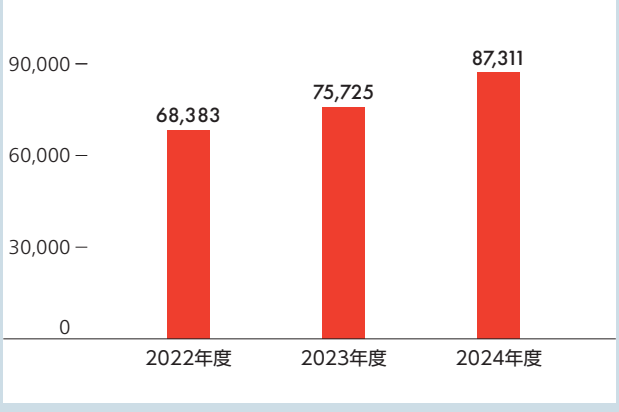
このような状況下、当社グループは、第11次中期経営計画（2023年度～2025年度）の2年目にあたる当連結会計年度において、グローバル展開を加速する中、クロストリディオイデス・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」（国内販売名：「ダフクリア」）が2023年度に引き続き大きく寄与し、欧州地域を中心に海外売上を大幅に拡大させました。また、国内市場におきましても、医療用医薬品事業は薬価改定の影響などを受け苦戦したものの、コンシューマーヘルスケア事業は主力品である「ヘパリーゼ群」などの伸長により、売上を拡大させました。

これらの活動の結果、当連結会計年度の売上高は873億11百万円（前期比15.3%増）、営業利益は121億97百万円（前期比26.8%増）となりました。また、前期に多額の為替差損を計上した一方、当期は為替差益に転じたことなどにより、経常利益は128億40百万円（前期比50.8%増）となり、前期に特別利益を計上した一方、当期は投資有価証券評価損などの特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は99億36百万円（前期比28.5%増）となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は56.9%（前期51.5%）となっております。

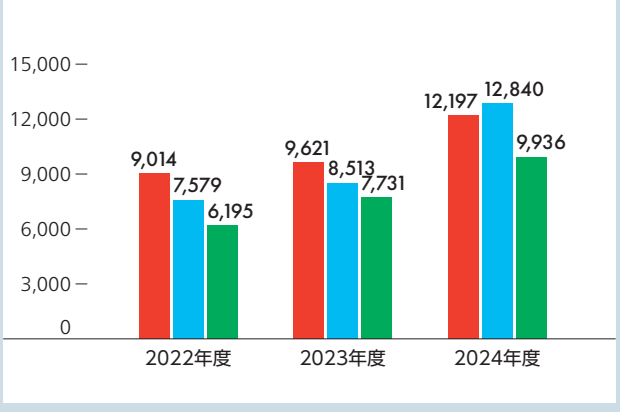
売上高

単位:百万円



営業利益（■）／経常利益（■）／親会社株主に帰属する当期純利益（■）

単位:百万円



医療用医薬品事業

主力製品につきまして、潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、国内市場においては薬価改定や競合品の影響もあり苦戦いたしましたが、海外市場において北欧などで好調に推移したことにより、全体では増収となりました。「ディフィクリア」は営業リソースを積極的に投入し、欧州地域を中心に売上を大幅に拡大いたしました。一方、炎症性腸疾患治療剤「エントコート」（国内販売名:「ゼンタコート」）は、海外の一部の国で後発医薬品が上市された影響を受け、売上は減少いたしました。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」はほぼ前年度並みとなりました。

なお、2025年3月に高カリウム血症治療薬「ビルタサ懸濁用散分包8.4g」の国内での販売を開始し、早期の市場浸透に努めております。

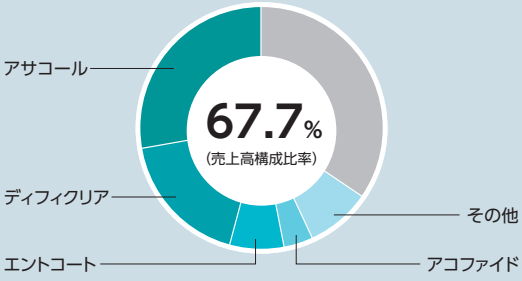
これらの結果、当事業の売上高は、589億70百万円（前期比19.0%増）となりました。

■ 売上高

589億70百万円

前期比 19.0%増

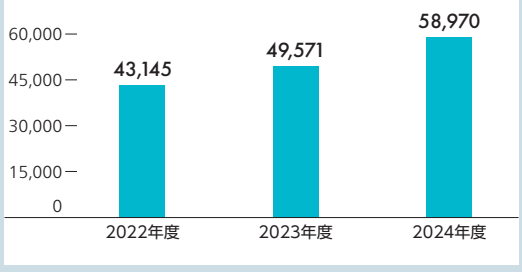
■ 主要製品売上高



アサコール	235億円
ディフィクリア	207億円
エントコート	53億円
アコファイド	30億円

■ 医療用医薬品事業連結売上高

単位:百万円



コンシューマーヘルスケア事業

主力製品につきまして、「ヘパリーゼ群」は、2024年10月に発売した新製品「ヘパリーゼWシャイン」(清涼飲料水)の寄与もあり、コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群の売上が拡大いたしました。また、医薬品ヘパリーゼ群につきましても、「疲れ」対策としての訴求が奏功し、好調に推移いたしました。さらに、植物性便秘薬「ウィズワン群」、皮膚疾患治療剤「プレバリン群」の売上も伸長いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては微減となりました。

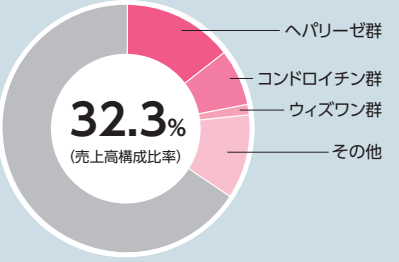
これらの結果、当事業の売上高は、281億79百万円(前期比8.4%増)となりました。

■ 売上高

281億79百万円

前期比 8.4%増

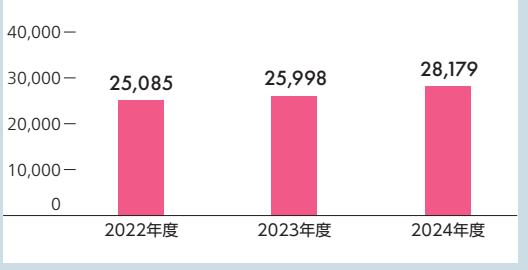
■ 主要製品売上高



ヘパリーゼ群	125億円
コンドロイチン群	55億円
ウィズワン群	15億円

■ コンシューマーヘルスケア事業連結売上高

単位:百万円



研究開発の状況

研究開発におきましては、スイス子会社のTillotts Pharma AGとの連携によるグローバル開発体制のもと、開発テーマを厳選のうえ、重点領域である消化器分野を中心に、導入品を含め複数のプロジェクトの評価を進めてまいりました。その中で日欧同時開発可能な新規開発テーマの研究開発の検討を進めております。

「Z-100」につきましては、新たな適応症での臨床開発に向けて非臨床試験を着実に推進するとともに、新たな特定臨床研究への支援に向けた準備を進めております。

機能性ディスペプシアを適応症とした自社オリジナル品の「Z-338(一般名:アコチアミド)」につきましては、提携先のFAES FARMA,S.A.では、新たにグアテマラで承認を取得するとともに、2024年度内にドミニカ共和国、ホンジュラス、エルサルバドル、チリ、グアテマラ、ペルーで販売を開始した結果、販売地域をメキシコ、エクアドルに加え中南米8カ国に拡大いたしました。2024年9月には、提携先のMeiji Seikaファルマ株式会社がタイで販売を開始いたしました。なお、シンガポールでは提携先のUnited Italian Trading Corporationが、ベトナムでは子会社のPharmaceutical Joint Stock Company of February 3rdが、それぞれ承認申請中であります。さらには、Agastra-Lab s.r.l.と欧州・米国・カナダ地域における開発および販売契約を締結するなど、グローバル展開を推進しております。国内におきましては、小児の患者様を対象としたフェーズⅢ試験を実施しております。

「ZG-802」につきましては、低活動膀胱を対象としたフェーズⅡ試験を国内で滞りなく推進しております。当該疾患はQOL(生活の質)に多大な影響を及ぼす疾患であり、未だ有効な薬物治療は世界的に確立されておりません。2024年度には日本の疫学調査に関する論文が発表され、注目度の高い疾患であることが示唆されております。当該品目の開発を通じて未充足の治療選択肢を提供し、患者様のQOLの改善に貢献してまいります。

CSL Viforから導入いたしました鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト」につきましては、リアルワールドデータを活用した複数のデータベース研究を実施しており、既に一部は論文化され、市販後のエビデンス創出を含めた育薬活動を推進しております。

同じくCSL Viforから導入いたしました高カリウム血症治療薬「ZG-801(ビルタサ懸濁用散分包8.4g)」につきましては、国内において製造販売承認を取得し、2025年3月に発売いたしました。ビルタサが高カリウム血症治療の新たな選択肢となり、医療に貢献できるものと期待しております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましても、新たな顧客層の獲得を目的とする特長ある製品の開発を進め、2024年度はヘパリーゼWシリーズの新製品「ヘパリーゼWシャイン」(清涼飲料水)を発売いたしました。

研究開発パイプライン

新薬パイプラインの状況

Ⅰ. 国内開発状況

(2025年5月8日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
フェーズⅢ	Z-338／アコチアミド	ゼリア	小児機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-802／アコチアミド	ゼリア	低活動膀胱	下部尿路機能改善作用	自社品

Ⅱ. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
申請中 (ベトナム)	Z-338／アコチアミド	Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
申請中 (シンガポール)	Z-338／アコチアミド	United Italian Trading Corporation Pte. Ltd.	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
申請中 (コロンビア、コスタリカ、パナマ、ニカラグア)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
フェーズⅢ (欧州、米国、カナダ)	Z-338／アコチアミド	Agastra-Lab s.r.l.	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)

発売となった開発品

発売日	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
2024年5～11月 (チリ、グアテマラ、ペルー)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
2024年9月 (タイ)	Z-338／アコチアミド	Meiji Seika ファルマ	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 (導出)
2025年3月 (日本)	ZG-801／パチロマーソルビテクスカルシウム (販売名：ビルタサ懸濁用散分包8.4g)	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性ポリマー	導入品

ご参考

フェーズⅠ(第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ(第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ※と比較しながら調べます。

フェーズⅢ(第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※プラセボ　有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

生産物流の状況／次期の見通し

● 生産物流の状況

生産物流におきましては、エネルギーコストや原材料価格の高騰、物流コストの上昇が続く中、品質確保および安定供給を前提に、生産ラインの集約や内製化の推進による原価低減に取り組んでまいりました。

生産関連部門につきましては、各工場における感染リスク対策を徹底しつつ、安定供給体制の維持を図りました。また、当社が保有する埼玉工場と筑波工場に加え、子会社2社が保有する工場（健創製薬株式会社つくば工場、イオナ インターナショナル株式会社福島工園）を併せた国内4工場の生産体制を見直し、生産ラインの集約化や内製化を順次進めてまいりました。

なお、経営資源の集約、意思決定の迅速化、更なる原価低減の取り組みとして、2025年4月1日付で健創製薬株式会社を吸収合併し、健創製薬株式会社つくば工場を当社保有工場（第二筑波工場）といたしました。

物流関連部門につきましても、引き続き業務効率化による物流コストの削減に取り組んでおります。

また、当社各工場におきましては、GMP遵守体制強化のために品質保証部門の増員を進め、管理体制を強化いたしました。今後も各工場におけるクオリティーカルチャー（品質を優先した企業文化）の浸透を図るとともに、品質管理部門や本社担当部門による監督体制の強化を通じて、万全を期してまいります。

● 次期の見通し

2026年3月期の通期連結業績につきましては、売上高900億円（前期比3.1％増）、営業利益120億円（前期比1.6％減）、経常利益120億円（前期比6.5％減）、親会社株主に帰属する当期純利益95億円（前期比4.4％減）と予想しております。

売上高

医療用医薬品事業につきましては、主力製品である「アサコール」や「ディフィクリア」の海外における売上伸長が見込まれることから、増収を予想しております。また、コンシューマーヘルスケア事業につきましても、「ヘパリーゼ群」が引き続き伸長していることに加え、「コンドロイチン群」、「ウィズワン群」などの主力製品や主力製品に次ぐ製品群の寄与により増収を見込んでおります。

利益

売上高の増加を見込んでいるものの、エネルギー・原材料価格高騰の影響、研究開発費、海外子会社の基幹システム投資に係る費用などの経費の増加を見込んでおります。なお、為替差損益は見込んでおりません。

	第71期	第72期（予想）
売上高	873億11百万円	900億円
営業利益	121億97百万円	120億円
経常利益	128億40百万円	120億円
親会社株主に帰属する当期純利益	99億36百万円	95億円

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。

●保有株式数1,000株以上:A～Fコースの中から、いずれか1コースを選択
　また、長期保有優遇として、1,000株以上を3年以上継続保有していただいた株主様には、
　ご選択のご希望コースに加え、「ヘパリーゼWプレミアム極」10本を贈呈

●保有株式数100株以上1,000株未満:下記いずれか
　保有3年未満の株主様…Gコース
　継続保有3年以上の株主様…「ヘパリーゼWプレミアム極」10本

ご試用によって、当社グループの幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・
特定保健用食品

「アルミ缶入りドリンク詰め
合わせ・ヘパリーゼWセット」

B コース

栄養補助食品・指定医薬部外品

「コンドロサポート・コンドロ
アミノCa錠詰め合わせ」

C コース

健康補助食品

「シーアルパ100」
180粒入り1個

D コース

スパ発想の
オールインワン化粧品

「イオナ スパ&ミネラル
詰め合わせ」

E コース

上質なうるおいを
体感する3品目

「IONAベーシック
スキンケア3点セット」

F コース

コンドロイチン研究を活かした、
うるおい体感の上質スキンケア

「イオナ R スペシャルケア
2点セット」

G コース

肝臓エキス・ウコンエキス
配合ドリンク

「ヘパリーゼW」
10本

★3年以上継続保有贈呈品

肝臓エキス・ウコンエキス
配合ドリンク

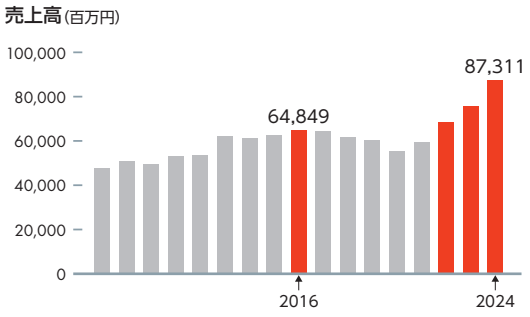
「ヘパリーゼW
プレミアム極」10本

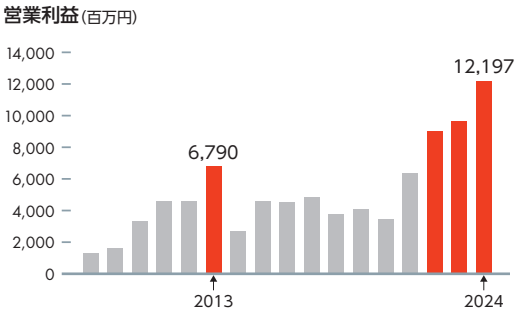
E,Fコースの製品はゼリアオンラインショップ(https://www.zeriaonline.com/)でお買い求めいただけます。

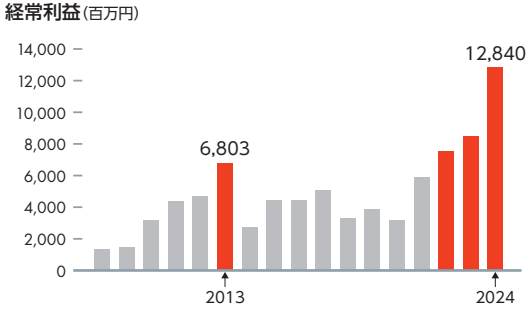
3期連続で過去最高業績を更新

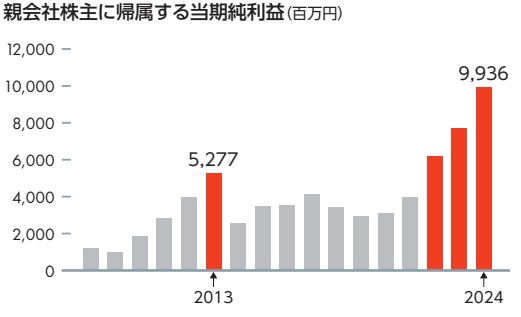
2024年度は、前年度に引き続き、欧州を中心とした海外の医療用医薬品事業が大きく伸長し、また、コンシューマーヘルスケア事業も、主力品であるヘパリーゼ群を中心に好調に推移したことから、前年対比で増収増益の決算となりました。

その結果、2024年度は、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益の全てにおきまして、3期連続で過去最高業績の更新となりました。特に、営業利益・経常利益につきましては初めて100億円を突破するなど、成長を加速させる結果となりました。



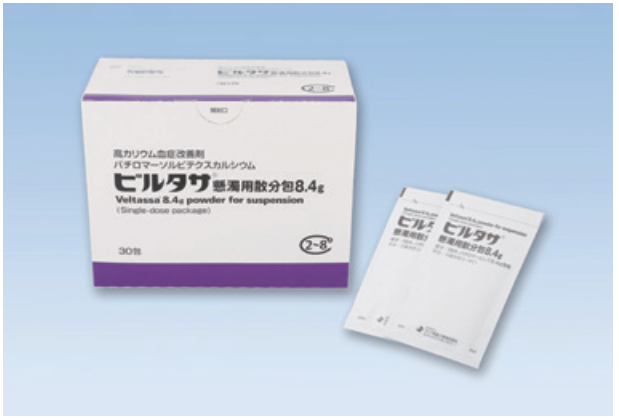






新製品の発売

▶ 高カリウム血症治療薬「ビルタサ懸濁用散分包8.4g」発売



当社は、高カリウム血症治療薬「ビルタサ懸濁用散分包8.4g」(一般名：パチロマーソルビテクスカルシウム、以下「本剤」) を、2025年3月17日に発売しました。

本剤は、スイスCSL Vifor社によって開発され、米国、カナダ、ヨーロッパ諸国など、日本を含む世界42カ国で承認されています。

主成分にナトリウムを含んでおらず、また、1日1回の経口投与などの特長を持つ薬剤であり、患者様の服薬コンプライアンスの向上にも貢献できるものと期待しています。

▶ 「ヘパリーゼWシャイン」発売

当社は全国のコンビニエンスストアにて清涼飲料水「ヘパリーゼWシャイン」を、2024年10月1日に発売しました。

コンビニエンスストアにて販売し大変好評をいただいておりますヘパリーゼWシリーズに、定番の肝臓エキスとウコンエキスに、ビタミンC、ローヤルゼリー、コラーゲンなど女性にもうれしい成分を新配合した「ヘパリーゼWシャイン」をラインアップに加え、健康を気遣う様々な方をサポートしてまいります。

ピンク基調の目を引くボトルデザインで手に取りやすく、また、さっぱりアセロラ味(無果汁)で、これまでと同様においしく飲みやすい味となっています。

財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

科目＼期別	前連結会計年度 2024年3月31日現在	当連結会計年度 2025年3月31日現在
[資産の部]		
流動資産	**57,809**	**69,529**
現金及び預金	20,323	23,592
受取手形及び売掛金	21,249	26,742
たな卸資産	14,489	16,433
その他	1,915	2,892
貸倒引当金	△169	△131
固定資産	**92,724**	**89,641**
有形固定資産	**26,517**	**26,641**
建物及び構築物	6,805	6,617
機械装置及び運搬具	1,780	1,653
土地	12,581	12,658
建設仮勘定	3,125	3,617
その他	2,225	2,094
無形固定資産	**43,139**	**40,361**
投資その他の資産	**23,067**	**22,638**
投資有価証券	9,145	8,865
繰延税金資産	110	97
退職給付に係る資産	13,410	13,264
その他	442	443
貸倒引当金	△41	△32
資産合計	**150,533**	**159,171**

科目＼期別	前連結会計年度 2024年3月31日現在	当連結会計年度 2025年3月31日現在
[負債の部]		
流動負債	**54,518**	**54,449**
買掛金	3,273	3,971
短期借入金	38,283	34,298
その他	12,960	16,179
固定負債	**16,186**	**14,925**
長期借入金	7,943	6,865
繰延税金負債	6,447	6,496
退職給付に係る負債	458	224
その他	1,337	1,339
負債合計	**70,704**	**69,374**
[純資産の部]		
株主資本	**59,267**	**67,219**
資本金	**6,593**	**6,593**
資本剰余金	**11,685**	**11,685**
利益剰余金	**59,254**	**67,207**
自己株式	**△18,265**	**△18,266**
その他の包括利益累計額	**20,355**	**22,320**
その他有価証券評価差額金	**2,001**	**2,108**
為替換算調整勘定	**14,660**	**16,995**
退職給付に係る調整累計額	**3,693**	**3,216**
非支配株主持分	**206**	**257**
純資産合計	**79,828**	**89,797**
負債・純資産合計	**150,533**	**159,171**

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目＼期別	前連結会計年度 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	当連結会計年度 2024年4月 1日から 2025年3月31日まで
売上高	75,725	87,311
売上原価	20,223	23,351
売上総利益	55,501	63,959
販売費及び一般管理費	45,879	51,762
営業利益	9,621	12,197
営業外収益	652	1,502
営業外費用	1,761	859
経常利益	8,513	12,840
特別利益	1,479	2
特別損失	483	225
税金等調整前当期純利益	9,508	12,618
法人税、住民税及び事業税	1,970	2,663
法人税等調整額	△157	△12
法人税等合計	1,813	2,650
当期純利益	7,695	9,968
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△36	31
親会社株主に帰属する当期純利益	7,731	9,936

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目＼期別	前連結会計年度 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	当連結会計年度 2024年4月 1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,183	12,922
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,952	△1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,124	△7,756
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,402	749
現金及び現金同等物の増減額	2,510	4,863
現金及び現金同等物の期首残高	16,094	18,604
現金及び現金同等物の期末残高	18,604	23,467

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位:百万円、端数切捨て)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,593	11,685	59,254	△18,265	59,267	2,001	14,660	3,693	20,355	206	79,828
当期変動額											
剰余金の配当			△1,983		△1,983						△1,983
親会社株主に帰属する当期純利益			9,936		9,936						9,936
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						106	2,335	△477	1,965	50	2,016
当期変動額合計	―	―	7,952	△0	7,952	106	2,335	△477	1,965	50	9,968
当期末残高	6,593	11,685	67,207	△18,266	67,219	2,108	16,995	3,216	22,320	257	89,797

会社情報（2025年3月31日現在）

会社概要

創立	1955年12月
資本金	6,593,398,500円
社員数	1,746名（連結）
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

取締役および監査役（2025年6月27日現在）

代表取締役会長 兼 CEO	伊部幸顕
代表取締役社長 兼 COO	伊部充弘
取締役（社外取締役）	小森哲夫
取締役（社外取締役）	野本亀久雄
取締役（社外取締役）	森元誠二
取締役 兼 常務執行役員	岡澤有輝
常勤監査役	遠藤広和
常勤監査役	黒田博之
監査役	中由規子
監査役	紙透大

執行役員（2025年6月27日現在）

常務執行役員	加藤博樹
常務執行役員	桜井政和
執行役員	平賀義裕
執行役員	河越利明
執行役員	草野研治
執行役員	岩井充
執行役員	秋庭和広
執行役員	鈴木健一
執行役員	田中靖久
執行役員	渡辺剛志

取締役の兼任を除く

事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 中四国支店
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 札幌物流センター
- 東京物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

主な子会社

- Tillotts Pharma AG（スイス）
- Tillotts Pharma AB（スウェーデン）
- Tillotts Pharma Ltd.（アイルランド）
- Tillotts Pharma UK Ltd.（英国）
- Tillotts Pharma Czech s.r.o.（チェコ）
- Tillotts Pharma Spain S.L.U.（スペイン）
- Tillotts Pharma GmbH（ドイツ）
- Tillotts Pharma France SAS（フランス）
- Tillotts Pharma Italy srl（イタリア）
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd（ベトナム）
- ZPD A/S（デンマーク）
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- イオナ インターナショナル株式会社
- 健創製薬株式会社※
- 株式会社ゼービス
- 株式会社ゼリアップ

※2025年4月1日付で当社に吸収合併

株式情報（2025年3月31日現在）

株式の状況

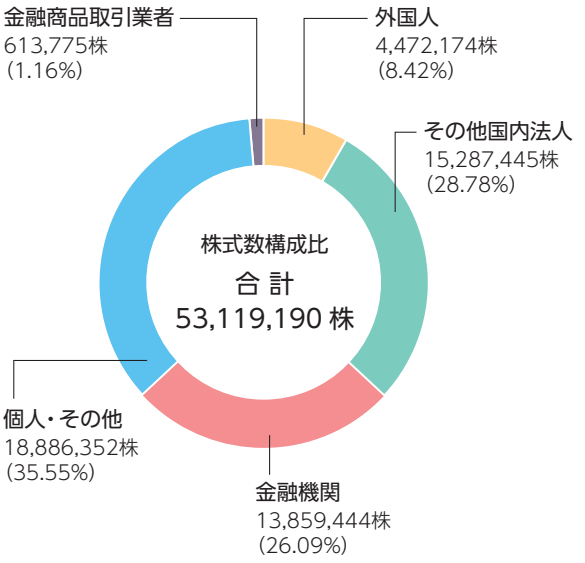
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	14,690名

大株主

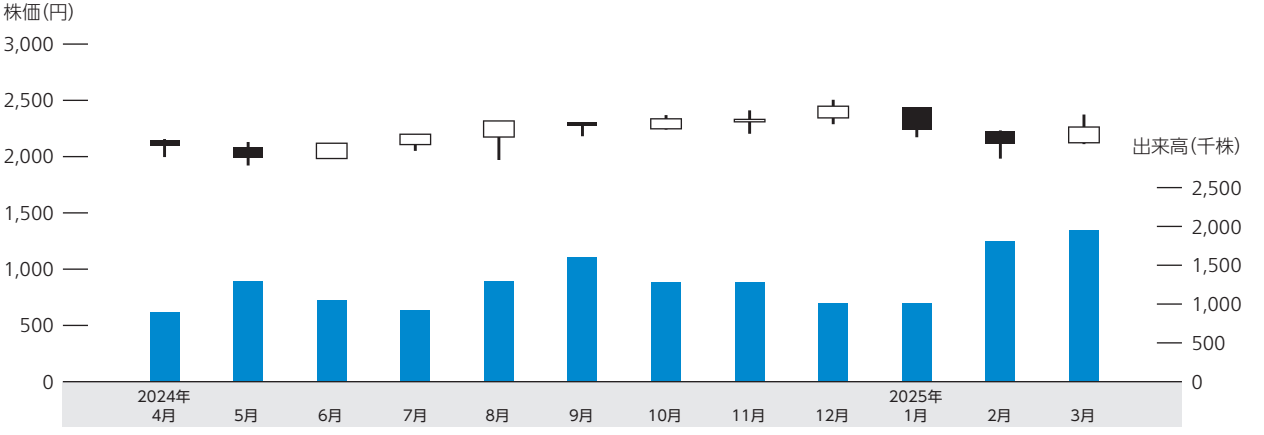
株　主　名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	5,330,347	12.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,781,000	8.6
株式会社三菱UFJ銀行	2,107,050	4.8
伊部幸顕	1,592,967	3.6
森永乳業株式会社	1,472,215	3.3
株式会社三井住友銀行	1,406,131	3.2
株式会社みずほ銀行	1,406,053	3.2
三井住友カード株式会社	900,900	2.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	895,700	2.0
キッセイ薬品工業株式会社	867,900	2.0

(注)持株比率については、自己株式(9,039,667株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168−0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

https://www.zeria.co.jp/

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室
〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351（代表）　FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
https://www.zeria.co.jp/

健康づくりは幸せづくり
ゼリア新薬
ZERIA